

WEEKLY



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD
世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、
そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ
～我がクラブの志と共に～

第42回(通算1656回)例会報告

令和6年6月7日(金)

次年度のための例会

出席報告

総会員数57名(計算会員数51名)欠席9名 出席率82.35% 前々回修正出席率92.00%

歌/会場

国歌・奉仕の理想

会場:ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

会長の時間

山本雅久会長



第42回の例会を執り行います。どうぞよろしくお願い致します。
東三河 RC 会長幹事会に参加して、各クラブの一年の活動報告が行われた。先回のベトナムの活動高井幹事が報告した。蒲郡 RC70 周年記念の後、ガバナー鈴木会員の基、執り行われるどうかお願い致しますとのこと。

誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!



青山泰三会員

松島弘和会員

入会記念日祝い

杉浦宏始会員



臨時総会

山本雅久会長

細則改定の件、承認

次年度のための例会

本多英司会長エレクト



皆さん、こんにちは。2024-25年度、第37代の会長を仰せつかりました会長エレクトの本多です。本日は、次年度の為の例会としてクラブ会員の皆様に次年度のことについてお話しさせて頂く機会を頂き感謝申し上げます。

話を始める前に、まず私自身について少しお話しさせて頂きます。私は、2009年(平成21年)7月3日、当時高橋英昭さん(高橋次年度プログラム委員長のお父様)が会長をされた年度の最初の例会で入会させて頂きました。早いもので丸15年が経ちます。

入会後は、職業奉仕委員長、青少年奉仕委員長などをゆっくりとしたペースで拝命してたのですが、ここ数年は、一昨年プログラム委員長、昨年クラブ幹事、本年度会長エレクト、そして次年度会長と、怒涛の数年間を過ごさせて頂いております。自分の想定よりも少し早いペースでの会長拝命でしたが、誠心誠意、頑張らせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

それでは次年度のお話に入ります。まずは国際ロータリーについてです。2024-25年度国際ロータリー会長は、ステファニーA.アーチック氏、米国ペンシルバニア州のロータリークラブに所属している女性の方です。RIテーマは「ロータリーのマジック」。これは、過去、ドミニカにて奉仕活動として浄水器の設置をしたときに、透明な水が出るのを見た二人の少年が「もう一度魔法を見せて」といったことがきっかけの言葉だとのこと。

私たちは実際に魔法を使えるわけではありませんが、日々しっかりと活動し、「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょう。と唱えられています。

次に第2760地区のガバナーは、吉川公章(よしかわこうしょう)氏、名古屋南 RC 所属です。2024-25年度の地区方針は、『魅力ある例会 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー～行動計画 4つの優先事項に沿って戦略計画を～』です。未来に向けて成長するロータリーの新たな価値を生み出すために、行動計画を立てて、継続的な努力をしていきましょう。と唱えられています。

RIテーマ、地区方針についての詳細は、本日はご説明させて頂きたく時間が無いので、来月発表されるクラブ計画



書をご覧ください。

次に、本題でありますクラブ方針についてご説明させていただきます。

次年度のクラブ方針は、『選ばれるブランドを育てよう』とさせていただきます。

『ブランド』とは、他と区別できる“らしさ”を持った「集団」（「クラブ」）であり、その“らしさ”に共感し、ファンがつくのだと考えます。

1905年2月23日にアメリカで始まったロータリークラブは、その理念が世界中へ広がり、100年以上の歴史と伝統を有します。私たち豊橋ゴールデン RC も 1988年10月28日の創立以来、36年間歴史と伝統を育んでいます。ロータリークラブ創設時の理念は不変のものとして私たちの中に受け継がれ、守られてきました。今まで培われてきた歴史と伝統が、私たちロータリークラブの『ブランド』です。そして時代は常に変化し続けます。守るべきものは守り、変化すべきものは変化が必要です。その時代に合わせた変化こそが、持続可能な発展のために必要な行動であると考えます。これまでの「陰徳を積む」といった美学から「ロータリーブランドを育てる」ことへ時代ははています。まさに近年提唱されている「インパクトのある活動」や「公共イメージの向上」など、様々なところで意識されています。

その中で私は、我が豊橋ゴールデン RC が『選ばれるブランド』になることを意識する時だと考えます。

豊橋ゴールデン RC “らしさ”を活かし、クラブ内外含め多くの方々に共感していただき、ファンになっていただけるような活動をしましょう。そして、好きだから選ぶ、憧れる、応援する、仲間を増やしたくなる、仲間になりたい、そんな『選ばれるブランド』の力を持った、魅力あるクラブを皆さんと共に目指したいと思います。

そのために私たちは、外から見て「インパクトのある活動」をする必要があります。そして私たちの活動を、様々な媒体を通じて積極的に情報発信し、人々の理解を深めることによって、「公共イメージの向上」に結び付けることが重要です。今年度 35 周年事業としてホームページをリニューアルしていただきました。積極的な情報発信をしていきたいと思っています。

地域はもちろん、世界にも目を向けていきたいと思えます。

地域では、ここ数年、年間 100 万人を超える来場者を誇る、豊橋動植物公園において、しばらく使っていなかった「地区補助金」を使って、社会奉仕活動を展開しております。

初年度、正門と東門に「豊橋ゴールデンロータリークラブ」と記された看板を立て、ホームページも作り、絶滅していく動物たちにスポットをあて、多くの方々の目に留まり、環境保護に関する意識を広げています。

今年度は、豊橋市内の全ての小学生にたちにチラシを配り、当日は動物園で事業を行い、たくさんの子供達へ意識づけを行いました。

3 年目である次年度も、継続して豊橋動植物公園にて社会奉仕活動を展開していきたいと考えています。

一方、国際奉仕については、昨年度コロナ後初めて、海外であるフィリピンにて衛生に関する国際奉仕活動を実施しました。

そして今年度は、先週例会で報告されたとおり、ベトナムにて、識字率向上などに寄与する国際奉仕活動を展開しました。

どちらの国の子供達も、きらきらと輝いた眼で参加してくれていたのがとても印象に残っています。

これら二つの国際奉仕活動は、それぞれの国々においても、我がクラブにおいても、とても意義深いものであったと思います。

そして次年度は、これらの経験をふまえ、グローバル補助金にチャレンジしようと考えております。ご存じのように、ロータリークラブは、世界 200 以上の国と地域に、37,000 以上のクラブがあり、会員数も 120 万人にも上る世界的な奉仕団体です。

次年度は、そのバックボーンを活用した国際奉仕活動を展開したいと考えています。グローバル補助金を使うことにより、今までよりも数段大きな奉仕活動が可能になります。現在、国際奉仕委員会を中心に企画を進めていただいております。これは、一委員会事業としてではなく、クラブとしての全体事業になると思いますので、皆様是非ご協力とご参加をお願いいたします。

今まで私たちのクラブが培ってきた歴史と伝統を重んじながら、クラブ内でしっかりと学び、そして新しいことにもチャレンジしていきたいと思っています。

まさに、「入りて学び、出でて奉仕する」時です。良いことをして、内外に、刺激を与えられるクラブを目指します。私たちの活動が、周りに良い変化を促すことで、私たちも成長し、私たちのクラブが『選ばれるブランド』になるのだと考えます。

最後になりましたが、私の考える豊橋ゴールデン RC “らしさ”とは

品格… “私たちは、歴史と伝統を重んじます”

活発… “私たちは、仲良く活気がある元気なクラブです”

行動… “私たちは、強い信念をもって魅力的な活動をします”

私たちの大切な『ブランド』大切な『クラブ』をみなさんと共に育てていきましょう！

ご清聴ありがとうございました。



鬼頭秀幸次年度幹事

本日は、次年度の為の例会ということで、このような機会をつくっていただき、ありがとうございます。本年度のプログラム委員長からの幹事ということ大役を頂いた鬼頭です。

特にここで、話すことというと、何からどのような内容で話すのかを少々とまどってしまっていますが、過去の先輩方々の通ってきた道でありますので、私なりに覚悟と言いますか感じるままに挨拶をさせていただきます。

私が思いますのに幹事といいますが、私の経験上でいえば、すぐゴルフ幹事とか飲み会幹事とか、何らかの設営幹事とかを連想します。また、少し硬いところでいえば、私の職業上の業者団体で、10 年近く幹事職を経験したこともあります。

もちろん豊橋ゴールデン RC の幹事は、後者の方が、近いお役だとは思いますが、やはりそれはそれで、過去の先輩方々のご活躍を考えても、また違った、相当なご苦労や、ロータリーならではの事があったことと思います。当然、時代の移り変わりもあり、コロナによって、右往左往しながら例会を実施していた時もありました。そこで私は、今一度、基本的な部分を見直そうと、以前いただいた研修会資料のこれだけは知っておきたい「ロータリーの基



礎」を出してきて、ロータリーの幹事の仕事を確認しました。意外とシンプルに書かれていて、だいたい今まで理解してきたことと変わらないので、少し参考になった程度でした。

こうなると、直近の幹事が一番、参考になるので、今年度の高井さんの行動を分析してみました。皆さんもちょっと考えてみてください。今年の高井幹事の活躍は、どうでしたか？私は、かなり近くで見えていましたから、皆さんの評価と違うかもしれませんが、私なりの見方ですが、こうみて彼は、一見雑なようで、繊細であり、幹事を丁寧にこなしていました。また、人に対する面倒見がいいといえますか、常に誰に対しても誠意をもって接していました。昔は知りません。おそらくロータリーで成長したのかもとも思います。そうそう、四つのテスト通りに頑張ったともいえます。

まだ他にもありますが、これ以上言いますと、本人から、もっと褒めてとか言いそうで、調子に乗って、一発で評価が下がってしまいますので、このくらいにしときます。まあ、こういった高井幹事のいいところを全て、真似しながら、次年度の本多会長の方針に沿って、皆さんのお役に立てる幹事を全うしていきたいと思えます。それには、やっぱり皆様のご協力がとても必要になると感じています。以上簡単ではございますが、私、次年度幹事からの挨拶とさせていただきます。一年間、どうぞよろしくお願ひ致します。ご清聴、ありがとうございました。



村松 光 創立 35 周年ホームページリニューアルプロジェクトメンバー
創立 35 周年ホームページリニューアルプロジェクトメンバーの村松光です。ホームページリニューアルプロジェクトの一環として、次年度より導入いたします L ステップを利用したカンタン例会出欠連絡につ

きましてご説明させていただきます。出欠連絡の現状の課題は、欠席連絡を通じての出席回答率が約 30%、回答期限直前での欠席回答が多数であり、時には個別の電話確認や例会時での対面確認を行っています。その後、集計、確認、変更などを行ったうえでロワジールへの例会食手配という労務過多の状況であります。それを改善すべく、カンタン出欠連絡を導入いたします。導入・運用にあたり、会員の皆様への依頼事項があります。①会員登録、②出席、欠席共に回答義務の 2 点です。この 2 点のみで例会・理事会・委員会・趣味の会など出欠人数が自動集計され、事務局や担当責任者の業務効率が図れます。～登録手順の説明～。これからのスケジュールは本日 7 日から 14 日まで L ステップへの会員登録期間となります。6 月 17 日 (月) の次回例会案内はテスト的に当システムの運用と既存の PC メール等での配信をいたします。そして 7 月 1 日 (月) 次年度スタートより、PC メール配信は完全に停止し、当システムでの運用に完全切替いたします。新しい仕組みを皆様に効率よく利用しましょう。

趣味の会報告

クラブ・ゴールデンカップ
6 月 11 日 (火)
平尾 CC
優勝 神谷会員
2 位 今川会員
3 位 高井会員

酒井正樹会員



★ニコボックス

山本雅久・高井龍雄：次年度の方針や運営についてのお話しよろしくお願ひ。
鈴木 愛：四つのテストを唱和させて頂き。
松島弘和・青山泰三：誕生日をお祝ひ頂き。
杉浦宏始：入会記念日をお祝ひ頂き。
本多英司・鬼頭秀幸：次年度のためにスピーチさせて頂き。
村松 光：次年度の例会出欠確認方法について説明させて頂き。
本多英司・高井龍雄・
保永真生・鈴木紳昭：新聞にベトナム事業の記事が掲載されました。

牧 岳大：明日、明後日にかけて福島県で行われる全国 RYLA 研究会に学友会メンバーを連れて行ってきます。他地区合同の会議でいろいろ学んできたいと思ひます。

神谷 馨：本多さんがんばって！
杉田和俊：太田ニコボックス委員長あと 1 ヶ月がんばれ。
山口幹夫：例会参加の送り迎え会員の支援に感謝します。
伊藤眞芳：次年度楽しくやりましょう。
高橋哲也・伊藤角栄・
鵜殿健次・酒井正樹：村松氏の腰痛が治りますように!!
太田和彦：ニコボックスを発表させて頂き。

太田和彦ニコボックス委員長

★幹事報告

・第 33 回インターアクトクラブ年次大会報告書が届いております。

★他クラブの例会変更

- 6 月 17 日 (月) 豊橋南 RC 年度末最終例会
- 6 月 18 日 (火) 豊橋北 RC 本年度最終例会
- 宝 飯 RC 本年度最終例会
- 田原パ RC 最終例会 (サイン無)
- 6 月 19 日 (水) 豊橋東 RC 最終例会
- 渥 美 RC 最終例会
- 6 月 20 日 (木) 豊 橋 RC 最終例会
- 田 原 RC 田原 IAC と合同最終例会
- 6 月 21 日 (金) 新 城 RC 最終例会